

わが家のアイドル



上本 笑菜ちゃん(1歳8カ月)
煌也ちゃん(4カ月)
きょうだいで仲良く大きくなっ
てね♡



小林 幸人ちゃん(5歳)
藍子ちゃん(3歳)
大志ちゃん(3カ月)
にぎやかだ！仲良しでよろ
しい！



高橋 依都ちゃん(4カ月)
元気にすくすく育ってね♪



和田 涼花ちゃん(1カ月)
毎日にこにこ♪元気に大きく
なあれ♡

みんなの広場



櫻井 陽白ちゃん(2カ月)
いつも可愛くて癒やされます



東 大智ちゃん(1歳3カ月)
元気にすくすく育ってね♡

宛先

584-8511

住所・氏名(ふりがな)・電話番号

富田林市役所都市魅力課

常盤町1番1号

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真に、メッセージ(20字程度)を添え、住所、保護者と子どもの名前(ふりがな)、撮影時の年齢(月齢)、電話番号を記入し、封書で上記の宛先まで応募してください。

また、市ウェブサイトからもご応募いただけます(右図のQRコードから応募ページにアクセスできます)。

なお、今応募された場合、掲載は約4カ月後になります。



俳句

杉 岩井 英雅選

今月の詠題「当季雑詠」

秀句

真つすぐに春待つ歌は葛城へ

津々山台

原田 民久

《選評》「真つすぐに」は「春待つ」に掛かるのではなく「葛城へ」に掛かると読解すべきである。的確な省略が見事で、歌が真つすぐに葛城山の方へ伸びているという、その鮮明な情景と春を待つ思いがぴったりの秀吟。

冬の蠅言い分訊いてそのままに

藤沢台

高橋 潔

ピカソモネ捨つるに惜しき古曆

木戸山町

植木 啓次

初雪や頓狂な声二階より

高辺台

下田 沙羅

異次元の春風の吹く温暖化

富美ヶ丘町

鶴田 祐子

ちゃんちゃんこ齡相応をよしとして

向陽台

今西 尚子

賀状とぎれて薄れゆく縁かな

宮町

土井 清子

水音にしばし添ひゆき梅探る

選者

詠

※4月号は「川柳」を掲載します(なお、応募は2月28日で締め切りました)。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のはがきで応募してください(1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

5月号の「短歌」は3月31日(金)、6月号の「俳句」は4月30日(日)、7月号の「川柳」(宿題「音痴」)は5月31日(水)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は上記をご覧ください。

**若者大活躍！
持続可能な富田林を創る！**

「若者会議」とは？

本市では、若者が活躍できるまちづくりを進めるため、「富田林市若者条例」を制定しました。同条例に基づき創設された「富田林市若者会議」では、若者が本市に必要な施策について検討し、本市と共にその実現をめざしています。

「若者会議」はどんな活動をしているの？

若者会議は、本市に関わりのある若者（おおむね16歳〜30歳）を委員として委嘱し、ワークショップ形式で、本市が抱える課題の解決や、まちをより良くするための取り組みなど、さまざまなテーマの議論を進めます。

会議で検討した施策は、市長および市の幹部職員に提案し、提案を受けた市は、施策の実現に向けて検討し、結果を委員に報告します。



提案された施策はどうなるの？

令和4年度には情報発信（市公式インスタグラムの開設）や

まちのブラン
ド化（大型ミ
ニャールを制
作）、市民間

交流（遊び尽くせ月間・
演劇講座・ワカモノ☆ミ
ライ・カフェ）など5つ
の事業が実現しました。



「若者会議OB・OG会 心はい
つも富田林（愛称：こことん）」

第1期若者会議の委員のうち、引き続き本市のまちづくりに関わりたいと意向を持った人により、「若者会議OB・OG会 心はいつも富田林（愛称：こことん）」が創設されました。ことんでは、若者会議が提案した事業だけでなく、若者の意向を反映すべき事業や地域のイベントにも参加し、地域の皆さんとともにまちをより良くする活動をしています。

若者会議の第3期委員を募集

現在、令和5年度に活動する「第3期委員」を募集しています。富田林を愛する熱意ある若者の皆さんのご応募お待ちしております。



詳しくは、お問い合わせください。

生涯学習課（☎268056）

**埴輪なら世界遺産に負けへ
んで**

令和3年度に喜志南遺跡の二カ所（喜志町一丁目）で行った発掘調査で、大量の埴輪が出土しました。前回のレポート（令和4年10月号）では、キノコのような形の埴輪が見つかったことを紹介しましたが、今回はもう一カ所で行った調査の成果を取り上げます。

調査場所は、喜志プール跡の北西です。宅地造成工事に先立つ試掘調査で、人物埴輪と思われる欠けらを見つけたことが始まりでした。石川のすぐそばという、古墳の存在が全く想定されていなかった場所であること、人物埴輪は限られた古墳にしかなく、なかなかお目にかかれないものであることから、驚きの発見でした。

「これは大変なことになるかもしれない」その予感的中しました。本調査が始まり、調査区の一画の耕作土を取り除くと、埴輪が大量に入った土が現れました。人物埴輪に加え、家形埴輪、蓋（貴人にさしかける傘）・鞞（矢を入れる筒）・盾形といった道具をかたどった埴輪、鶏・馬形の動物埴輪などがあり、すべて小片になっていましたが、現場では連日わ

トポレ掘発財文化蔵埋

たって驚きの声が上がりました。調査を進めていくと、埴輪が大量に入った土は、もともと古墳を形作っていた盛土が、後世の破壊で崩れて堆積したものであることが分かりました。古墳を囲む溝も見つかり、その形から墳長20m前後の前方後円墳で、造られた時期は5世紀末頃と考えられます。

石川流域において、これほど豊富な種類の埴輪をもつ古墳が見つかったのは、世界遺産に登録されている古市古墳群（藤井寺市・羽曳野市）を除くと初めてです。古墳の規模こそ小さいものの、同古墳群の埴輪と比べても全く見劣りしません。

出土遺物は整理コンテナで50箱近くにも及び、接合作業が現在も進行中です。人物埴輪は顔の形はわかりませんが、土器を捧げ持つ巫女や、弓を持つ武人であることが分かりました。家・盾形埴輪は、全体の形が明らかになりつつあります。今後の整理作業の進展にご期待ください。



接合中の盾形埴輪

文化財課（内線432）